

大学コンソーシアムあきた平成21年度事業計画書

(平成21年4月20日理事会決定)

■ 理事会・運営委員会等の開催

規約、事業計画、収支予算の決定、事業運営に係る協議、事業報告及び収支決算の報告及び審議のため、理事会・運営委員会その他必要な会議を開催する。

■ 拠出負担金の収入

理事会決定の規約に基づき、構成機関の拠出負担金を収入する。併せて、秋田県補助金の交付申請及び受入を行う。

拠出負担金(大学)	@300,000×6校=1,800,000	秋大、県大、教養大、ノゾリア大、看護福祉大、日赤看護大
〃 (短大等)	@100,000×8校= 800,000	美工短大、栄養短大、聖霊短大、日赤短大
	計 2,600,000	聖園短大、秋田高専、放送大、職能短大

■ 大学間連携の推進

1 単位互換協定の運営

秋田県における大学、短期大学及び高等専門学校間の単位互換に関する協定の改廃を要する事案に関する協議及び決定のほか、単位互換全般の運営を行う。

カレッジプラザを会場として単位互換授業を行う場合には、科目提供大学等との調整や受講案内資料の作成及び広報、会場及び機器の設営などを行う。

<協定期間> 19.4.1~22.3.31 <協定参加機関> 11大学等

2 大学コンソーシアムあきた聴講生

科目提供大学と協議の上、カレッジプラザで開講される単位互換授業に社会人を受け入れる場合、聴講料を徴収し大学コンソーシアムあきた聴講生として受け入れる。

3 プロジェクト『4A』の事業協力

戦略的大学連携支援事業プロジェクト『4A』による「秋田戦略学」や「高大連携単位取得予約型授業」の事業展開に際しては、大学コンソーシアムあきた事業との協働実施など事業協力を行う。

4 職員研修・講演会

構成機関事務職員の大学運営に関する能力をはじめ、幅広い知識の涵養など一層の資質向上をねらい、職員等を対象とする講演会や研修を企画実施する。

<例1> 財務、教務等大学運営全般や地域貢献活動など、大学事務職員のスキルアップに役立つ分野をテーマにした講演会・研修会

<例2> 秋田県内高校と大学・短大による連携のための合同意見交換会

■ 地域貢献活動の推進

1 連携公開講座

構成機関の知的資源を活用し、それぞれの特色を発揮しながら相互に連携し秋田県の地域課題の解決を図る、又は解決方向を示唆する公開講座を構成機関と参画テーマを調整して実施する。

<テーマ設定>

次の取り組みテーマ（大括り2テーマ）で引き続き実施する

テーマ1 秋田元気力講座～人が元気に、地域が元気に～

これからの秋田を活気のある、より元気な地域にしていこう！という視点で秋田県内の大学や短大の知的資源を集め、幅広い研究領域の視点から地域の活性化に向けた分析や提言を県民に提供するリレー形式の公開講座。

テーマ2 明るくしなやかシルバーライフ～人生後半をすこやかに～

人生後半をすこやかに高齢化社会を前向きに生きる知恵を、秋田県内の大学や短大の各分野の研究者が講師を務めて開講するリレー形式の公開講座

<開講方式>

構成大学等がテーマ毎の担当講師を推薦し、それぞれの参画の視点を持ち寄って構成する

<開講回数・時期等>

テーマ毎に一定のまとまりのある期間内に開講を計画するが、概ね10月以降から2月頃までの時期を目処とする。

<開講場所>

カレッジプラザのほか県北・県南地域での開催についても模索し、構成機関が主催する公開講座との共催などによる開講も検討する。

<講座運営の工夫例>

秋田の活性化をテーマとする講座には学生の聴講者も増えてきていることから、より学生が興味を持つテーマ設定や開講場所の工夫などにより、交流機会の創出も検討しながら、地元出身学生以外の聴講も働きかける。

2 高大連携授業

高校生が学問への関心を高め、あるいは進路決定の参考となるよう大学や短期大学等の授業を受講する機会を設け、希望者応募方式で高校生を募る。

<実施時期>前期：5～7月実施、4月募集、週1回ペース／5週

後期：9～11月実施、8月募集 //

<会場>カレッジプラザ、大館市、由利本荘市、横手市など

<科目>

- (1) 各大学等の特色を生かし、受講希望者の関心が高い科目を開講する。
- (2) 実験・実習を伴う科目の場合は、5回のうちの数回を大学等施設で実施するなど、講義以外の体験についても重視して行う。
- (3) プロジェクト『4A』による単位取得予約型授業と共に実施する。

＜授業運営の工夫＞

- (1) 講義スタイルのほか、カレッジプラザで行う授業においても簡易な実験を取り入れるなどの工夫について科目提供大学等と協議し実施する。
- (2) 科目担当講師の所属大学等から学生を参加させ、授業時間の一部を利用して高校生との意見交換や座談会の機会を設けるなど、実際の大学等における学びや学生生活について、イメージできる機会を設ける。
- (3) モバイルシステムを活用し、科目募集や受講申込を携帯電話からも行えるようにし、受講者の拡大を図る。
- (4) 設問や自由記載欄により受講生の意見や感想を把握するようにし、担当講師に送付するほか、運営委員会において提示する。

3 社会人講座

県内高等教育機関の教育研究資源を地域に還元するために、主に社会人を対象に、体系的な知識の習得を目指す質の高い教育機会を、受講者にとって利便性の高い手法により提供することを目的とする。この講座で提供される授業科目の内容は、既存の一般的な生涯学習サービスとの一定の差別化を図り、大きく「実学系」（知識の有用性を重視）、「教養系」（質の高い学びの楽しみを重視）という2つの軸を設け、大まかに次の類型とする。

○職業や各種社会活動に役立つ知識・技能に関するもの

実学系

（経営、医療・福祉、教育、地域活動等）

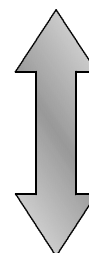
○政治・経済・社会・科学技術の動向に関するもの

中間

（経済・産業情勢、地域研究、国際関係等）

○文化、芸術、歴史など高度な教養に関するもの

教養系



＜開講科目数＞ 20科目程度

＜開講場所＞ カレッジプラザを利活用する

＜受講料＞ 受講者から1コマあたり400円の受講料を徴収する

4 サイエンスプラザ

大学の研究者と市民の方々がアットホームな雰囲気楽しく語り合うスタイルのイベントとしてサイエンスプラザを実施する。講演会やシンポジウム形式など従来のスタイルにとらわれない運営とし、テーマも理系分野に限定しない。

また、研究者と市民がひとつのテーマについて気軽に語り合うコミュニケーション型講座として、研究者と市民が同じ目線で語り合うことをねらう。

運営スタイルは自由度を高くし、映像資料のみならず、実体観察、実験などの手法も取り入れ、参加者自らが見て触れる体験型手法にも配慮して実施する。

＜開講テーマ数＞ 4テーマ程度（複数回シリーズ可）

＜開講場所＞ カレッジプラザを利活用する

＜受講料＞ 無料

5 中大連携授業

中等教育部門との連携による地域の教育活動を支援し、中学生に多様な教育機会を提供することを目的に、構成機関の教員による中学生向け企画授業を展開する。特に科学技術系科目における企画授業提供に重点を置く。

<進め方>

- 《出前授業型》秋田県内中学校の実施校を募集
 - 各大学等から企画授業の提案を募り、授業メニューを作成
 - 実施希望校は講師派遣(企画授業実施)依頼書を提出
 - 中学校の要望を取り入れ実施できるよう実施計画等を調整
- 《生徒応募型》生徒の長期休業期間等を活用した企画講座の提供
 - 中学校を通じ講座情報を提供、カレッジプラザで実施
 - 受講を希望する生徒が自ら申し込む「生徒応募型」で実施
- 主催企画講座を定期的を開催することにより、科学技術系に興味関心の高い生徒が継続的に受講を続ける契機とし、理系分野への進学の動機付けを図る

<開講場所> 県内中学校又はカレッジプラザを利活用する

<費用負担> 大学コンソーシアムあきたが負担する(中学校は負担なし)

6 各大学主催公開講座の開講推奨

各大学等が主催する公開講座や研究会の開催を働きかけ、カレッジプラザを会場に実施する。これにより、利便性の高い場所で大学の知的資源を県民に提供する教育サービスを一層活発化する。

7 地域貢献活動の広報等

- ホームページ、電子掲示板、モバイル版ホームページによる講座情報などの随時提供
- 各種講座情報などの報道各社あてリリースによる大学コンソーシアムあきた事業の情報発信
- 県民ニーズの一元的な対応窓口として各構成機関との調整等役割を担う

■ 全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム

毎年開催される全国大学コンソーシアム協議会主催の全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムに参加、教育研究・地域貢献活動等に関し情報交換する。

- 第6回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム

2009年度開催地：北海道函館市（第5回フォーラムで決定）

平成21年9月12日(土)～13日(日)

- ※「地域連携・社会貢献分科会」及び「コンソーシアムの組織運営分科会」において大学コンソーシアムあきたの取り組みを発表する